

広報つるおか特集号

平成28年度 鶴岡市 予算特集





平成28年度予算総額

1,326億2,685万2千円

新年度予算について

鶴岡市長 榎本政規

はじめに

本市は昨年の10月1日に市制施行10周年の節目を迎えました。この10年間、旧市町村の特色あるまちづくりや文化を尊重し、新市としての一体感の醸成と地域の融和に努めてきました。また、先人から引き継がれてきた多彩な魅力にあふれ、更なる発展の可能性が大きく膨らむ地方都市として、着実な歩みを進めてきました。一方、平成27年国勢調査では、平成27年10月1日時点の人口が12万9,630人（速報値）と13万人を割り込み、人口減少に歯止めが掛かっていません。

これからの市政を考えたときに、人口減少をはじめとする重要な課題について、東北一広い本市域に含まれる自然、歴史、文化等の地域資源と、高度に集積した高等教育研究機関で創造される知的資源を活用し、市民と行政が一丸となって総合力を発揮し適切に対応することこそが、心豊かで安全安心な市民生活の実現につながるものと確信しています。

28年度は10年間の合併特例期間が終了し、次のステップに踏み出す初年度として大切な時期です。この広報では、予算編成の基本的な考え方や予算の概要を説明します。

1 28年度予算編成の基本的な考え方

(一) 「鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」「鶴岡ルネサンス宣言」関連事業の推進

昨年10月に策定した「鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、危機感を持って推し進め、本市の人口流出と少子化の流れを食い止めるため、食文化などの強みと優位性を生かした付加価値の高い地域産業の育成をはじめ、若者が鶴岡で活躍し、暮らしたいと思うような、活力あふれる地域社会の実現に取り組みます。

あわせて「鶴岡ルネサンス宣言」に基づき5つの文化都市宣言（▽創造文化都市宣言 ▽観光文化都市宣言 ▽学術文化都市宣言 ▽安心文化都市宣言 ▽森林文化都市宣言）を鶴岡の未来を創造する成長戦略の柱として、力強く事業を展開します。

※鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略：「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定。喫緊の最重要課題である人口減少に対処するため「鶴岡市人口ビジョン」を踏まえながら、今後5か年の目標や施策をまとめたもの。

(二) 合併新市づくりに必要な社会基盤の整備

合併特例債の発行期間が平成32年度まで延長されたことを踏まえ、引き続き

会計別内訳

()内は対前年度当初予算比

▷一般会計	653億円	(5.6%)
▷特別会計	324億2,290万3千円	(1.3%)
交通災害共済事業	490万9千円	(▲76.5%)
国民健康保険	150億1,859万5千円	(▲0.3%)
後期高齢者医療保険	14億5,160万9千円	(2.7%)
介護保険	158億7,462万7千円	(2.8%)
休日夜間診療所	6,332万円	(0.1%)
墓園事業	984万3千円	(94.3%)
▷企業会計	349億394万9千円	(3.9%)
病院事業	165億4,711万2千円	(5.1%)
水道事業	49億7,353万3千円	(6.1%)
下水道事業	133億8,330万4千円	(1.8%)

- ・一般会計…市の基礎的な行政サービスを行うための会計。市税や地方交付税などを主な財源とし、市の会計の中心となる
- ・特別会計…特定の事業を行うために、特定の収入をもって行う会計。一般会計とは経理を別にし、本市では6つの特別会計を設けている
- ・企業会計…事業収益によって運営経費を賄う会計。地方公共団体が経営する企業は地方公営企業とされ、本市では3つの企業会計を設けている

き将来負担を考慮しながら、合併特例債を可能な限り活用して所要の整備を進めます。新文化会館、鶴岡第三中学校、羽黒庁舎等の大型事業のほか、一方通行解除に向けた都市計画道路山王町本町線等の道路整備、橋りょうや斎場等の老朽施設の改修などに関連する予算を計上しています。

(三) 行財政改革の推進

行財政改革大綱と実施計画に基づき、「効率的な行政システムの構築」「財政の健全化の推進」「市民・地域・行政の総合力が発揮できるシステムの構築」「地域庁舎機能の見直し」を重点的に取り組みました。その結果、大きな財政効果が得られ本市財政の健全化や、コミュニティの活性化に向けた環境づくり、市民と行政との協働による事業の推進が図られています。28年度は、こりす保育園、いでは文化記念館、温海ふれあいセンター等の管理運営の指定管理への移行、羽黒・櫛引学童保育所の民間委託、桂荒保生き生き交流センターの無償譲渡、交通災害共済事業の廃止等を行う予定です。

合併特例期間終了に伴い28年度から普通交付税が段階的に縮減されます。今後の財政構造の変化を見据えて、安定した行財政基盤の確立を図るため、引き続き全庁を挙げて行財政改革に取り組みます。新しい制度や組織への移行に際しては、市民の皆さんに不便を

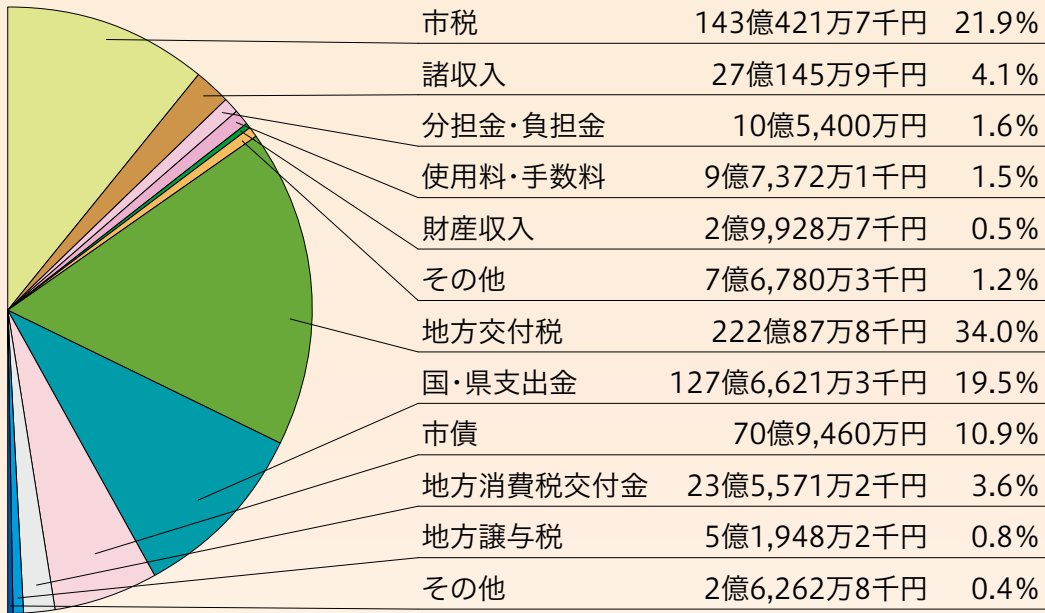
来さないことはもちろんのこと、「便利になった」「良くなった」と実感してもらえよう最大限の配慮をします。

二 予算の概要

平成28年度予算は、このような基本的な考え方を踏まえて編成しましたが、その会計別の大枠や、市の会計の中心となる一般会計の歳入・歳出の概要を説明します。

まず、一般会計当初予算の総額は、653億円、前年度当初予算と比較して34億9,000万円(5・6%)の増であり、過去最高額となっています。政府の一億総活躍社会やPPP(環太平洋パートナーシップ協定)関連政策大綱の実現に向けた施策等の27年度補正予算を、本市でも可能な限り取り入れて予算編成に当たり、27年度3月補正予算には9億9,725万3千円を、当該事業費として盛り込んでいます。

特別会計は、6会計の合計で、対前年度4億789万9千円増の324億2,290万3千円です。個別に見ると、国民健康保険特別会計はほぼ横ばいですが、後期高齢者医療保険特別会計、介護保険特別会計では保険需要の増大に伴い増加傾向が続いています。企業会計は、病院事業、水道事業、下水道事業の3つの会計があります。病院事業会計は、高額医療機器の更新などから対前年度8億385万5千円増の165億4,711万2千円です。



自主財源…30.8%
市税や諸収入、負担金や使用料、基金からの繰入金などの自主的な収入

依存財源…69.2%
地方交付税や国庫支出金、県支出金のように、国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする収入

- ・市税、地方交付税、国・県支出金、市債…6ページの用語解説参照
- ・繰入金…特定の事業のために積み立てたお金（基金）などから繰り入れるお金
- ・分担金・負担金…特定の利益を受けた人から負担してもらうお金
- ・地方消費税交付金…消費税の一部が人口と従業員数に応じて交付されるお金
- ・地方譲与税…国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金

水道事業会計は、建設改良事業費の増額などから対前年度2億8、486万4千円増の49億7、353万3千円です。下水道事業会計は、茅原地区の汚水管渠整備に着手することなどから対前年度2億3、637万3千円増の133億8、330万4千円です。

(一) 一般会計 歳入

市税は、企業景況の改善などを踏まえ個人・法人市民税については増収を見込み、地価の下落傾向による固定資産税の土地家屋分と都市計画税を減収と見込みました。一方、大手企業の積極的な設備投資による償却資産に係る固定資産税が増収と見込まれることなどから、対前年度5億2、372万1千円増の143億421万7千円となりました。

地方消費税交付金は、前年度の交付見通しを踏まえ、対前年度5億8、836万4千円増の23億5、571万2千円となりました。

地方交付税は、合併特例期間の終了に伴う段階的縮減の初年度となることから、普通交付税で2億7、000万円の減額を見込むとともに、国の地方財政計画で対前年度0・3%の減となっていることに加え市税や国の地方交付金の増額等を踏まえ、対前年度6億77万9千円減の222億87万8千円を計上しています。また、実質的な交付税として後年度にその全額が地方交付

税に算入される臨時財政対策債は、対前年度1億1、900万円減の19億200万円を見込みました。

分担金及び負担金は、保育所入所者負担金の状況などから、対前年度6、835万5千円減の10億5、400万円、また、使用料及び手数料は、前年度と比べほぼ横ばいの9億7、372万1千円となりました。

国庫支出金は、社会資本整備総合交付金の増額などから、対前年度6億3、414万円増の74億157万7千円を計上し、県支出金は、地域密着型介護施設等整備交付金の増額などから、対前年度1億6、797万1千円増の53億6、463万6千円となりました。

寄附金は、鶴岡ふるさと寄附金の増額を見込み、対前年度2億9、499万5千円増の3億6、508万5千円としています。繰入金金は、鶴岡中央工業団地水道の整備などに充てるため、対前年度2億4、214万7千円増の3億271万8千円となりました。

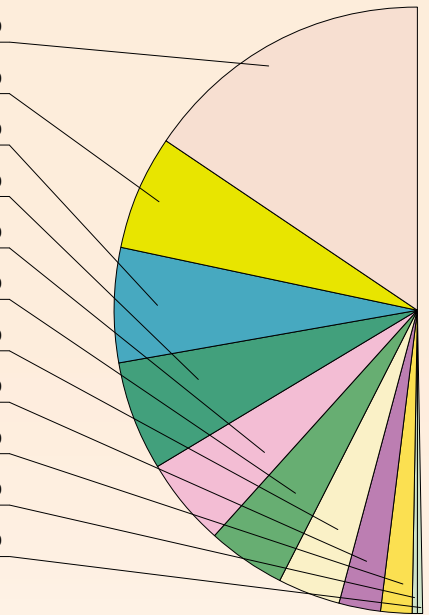
市債は、新文化会館や羽黒庁舎、鶴岡第三中学校整備等の大型事業に伴い対前年度17億6、000万円増の70億9、460万円となりました。

なお、28年度予算の自主財源比率は、前年度の31・1%から30・8%に低下しています。

(二) 一般会計 歳出

人件費は、事務事業や組織機構の見

歳出に占める割合	民生費	199億6,726万1千円	30.6%
消費的経費…62.4% 物件費や補助費など、後年に形を残さずに消費される性質のお金	総務費	82億5,062万5千円	12.6%
	公債費	77億5,815万8千円	11.9%
	教育費	76億1,593万4千円	11.6%
	土木費	63億7,645万1千円	9.8%
投資的経費…12.0% 建設事業などのように、社会資本として将来に残るものに使われる性質のお金	衛生費	53億6,399万7千円	8.2%
	農林水産業費	42億5,016万8千円	6.5%
	商工費	29億1,700万円	4.5%
その他…25.6% 上記のうち 義務的経費…47.3% 人件費や扶助費、公債費のように、支出が義務付けられ、任意に節減できないお金	消防費	21億7,410万1千円	3.3%
	議会費	3億9,724万2千円	0.6%
	その他	2億2,906万3千円	0.4%



- ・民生費…福祉や保育などのためのお金
- ・教育費…教育などのためのお金
- ・公債費…借金返済に充てるお金
- ・総務費…課税・納税、職員管理などのほか、総務・企画的な業務のためのお金
- ・土木費…道路や橋の建設などのためのお金
- ・衛生費…健康増進やごみ処理などのためのお金
- ・農林水産業費…農林水産業の振興のためのお金
- ・商工費…商工業や観光の振興のためのお金
- ・消防費…消防や救急、救助活動などのためのお金
- ・議会費…市議会の運営のためのお金

直しによる定員の適正化に努め、対前年度1・7%減の111億4、903万円となっています。

物件費は、直営施設の管理運営の指定管理への移行や学童保育所の民間委託等によって賃金が減額となる一方で委託料が増額となるほか、原油価格の下落による需用費の減額などもあり前年度と比べほぼ横ばいの83億5、802万6千円となりました。

維持補修費は、対前年度3・6%減の10億8、389万1千円、扶助費は、「子ども・子育て支援新制度」への移行に伴う増額などによって、対前年度1・9%増の119億9、635万円となっています。

補助費等は、企業立地促進関連の助成金や鶴岡ふるさと寄附金の返礼等の増額によって、対前年度10・2%増の81億5、810万9千円となりました。

普通建設事業は、これまで同様、事業の優先度や費用対効果、整備後の維持管理経費等を精査した上で、必要な社会基盤整備や安全安心なまちづくりなどに予算措置しました。新文化会館や鶴岡第三中学校等の大型事業等もあり、対前年度63・4%増の77億3、34万6千円となりました。

公債費は、過去の市債の償還終了や27年度3月補正予算で繰上償還を行ったこともあり、対前年度3億7、503万5千円の減となっています。

なお、人件費・扶助費・公債費を合計した義務的経費は、前年度の50・5%

%から47・3%に低下しています。

三 主要事業

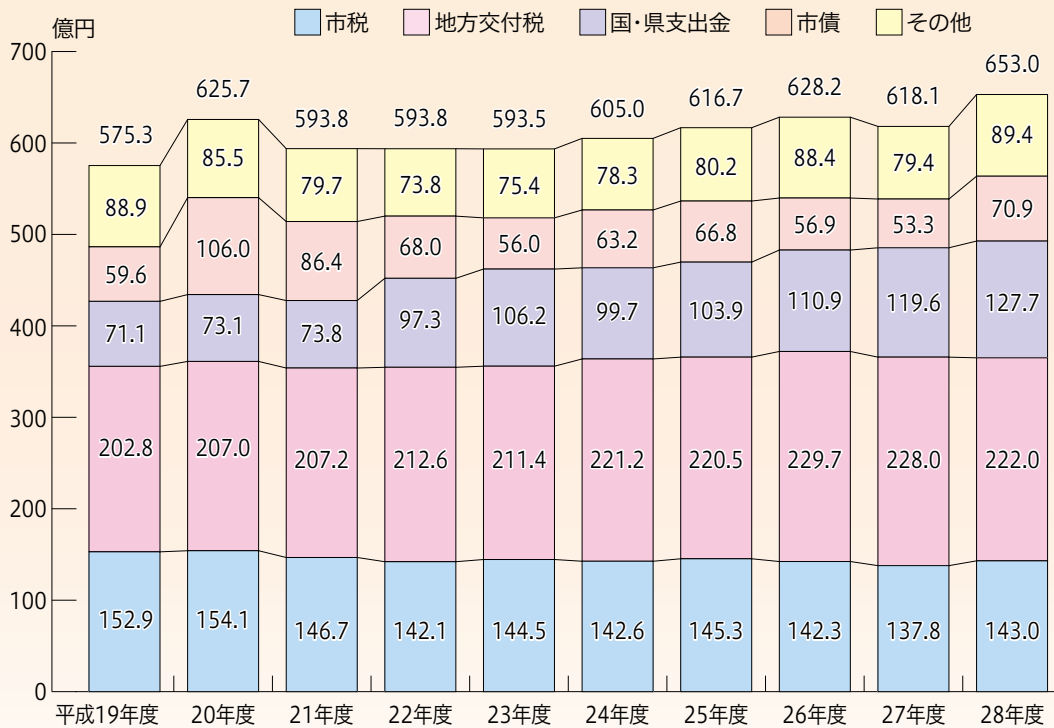
主要事業について、平成27年度3月補正予算に盛り込んだ事業も含め、「鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略）」及び「鶴岡ルネサンス宣言」に沿って、その概要を紹介します。

（一）鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進（4つの基本目標）

▼一 地域にしごとを増やし、安心して働けるようにする

総合戦略の重点施策の1つである「ユネスコ食文化創造都市の高度ブランド化による観光、農業等の成長産業化」に向けて、食文化分野で国内唯一のユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市であることを強力にアピールしながら取り組むを進めます。具体的には、鶴岡食文化の日の制定、イタリア食科学大学との連携による情報発信やヨーロッパでの食文化に関するプロモーション活動などを展開します。また、鶴岡産特産物の海外市場開拓と食文化の情報発信を図るため、つるおか農工商観連携総合推進協議会のマーケティング調査や民間の試験輸出の取り組みを支援するほか、農林漁業者や中小企業を取り組む農林水産物の加工開発等への支援を拡充します。

一般会計歳入の構成別推移



- ・市税…市民が市に納める税金（市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税、都市計画税など）
- ・地方交付税…所得税など国が徴収した税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金
- ・国・県支出金…特定の事務・事業についての財源として、国や県から交付されるお金
- ・市債…建設事業や財政対策などを行うために金融機関などから借り入れるお金

国外からの観光誘客を図るインバウンドの取り組みを強化するため、外国語パンフレットやホームページを充実するほか、鶴岡市観光案内所の認定外国人観光案内所化、案内看板の外国語表示、無料公衆無線LAN整備等の受け入れ環境を整備します。

国内向けの観光誘客では、鶴岡市観光連盟ホームページなどを充実させ、観光情報の発信力を強化するほか、関係機関と協力し、観光地のライトアップやぐるっとバスの運行、首都圏や中京圏において観光キャンペーンを実施し誘客を促進します。また、日本海きらきら羽越観光圏内での観光の促進や、月山の日本ジオパーク認定に向けて関係市町村と連携して取り組むほか、観光誘客の推進体制を強化するため、観光業を中心に関連産業が参加する観光戦略推進組織・鶴岡型DMOの構築のための調査を実施します。

もう1つの重点施策である「先端バイオを核とした次世代のイノベーション都市の創造・発信による地域活性化」に向けては、合成クモ糸繊維を核とした産業戦略の推進と、その受皿となるサイエンスパークの整備を支援するとともに、新たなベンチャー企業や研究機関等の誘致に関するベンチャービレッジ構想づくりや慶應義塾大学先端生命科学研究所の最先端の成分分析能力を生かした地域農産物の高付加価値化に新たに取り組めます。あわせて、地元企業などのバイオ関連産業への参画

や次代を担う高校生などの人材育成を進め、地域でのバイオクラスターの形成やベンチャー企業の創出・育成を進めます。

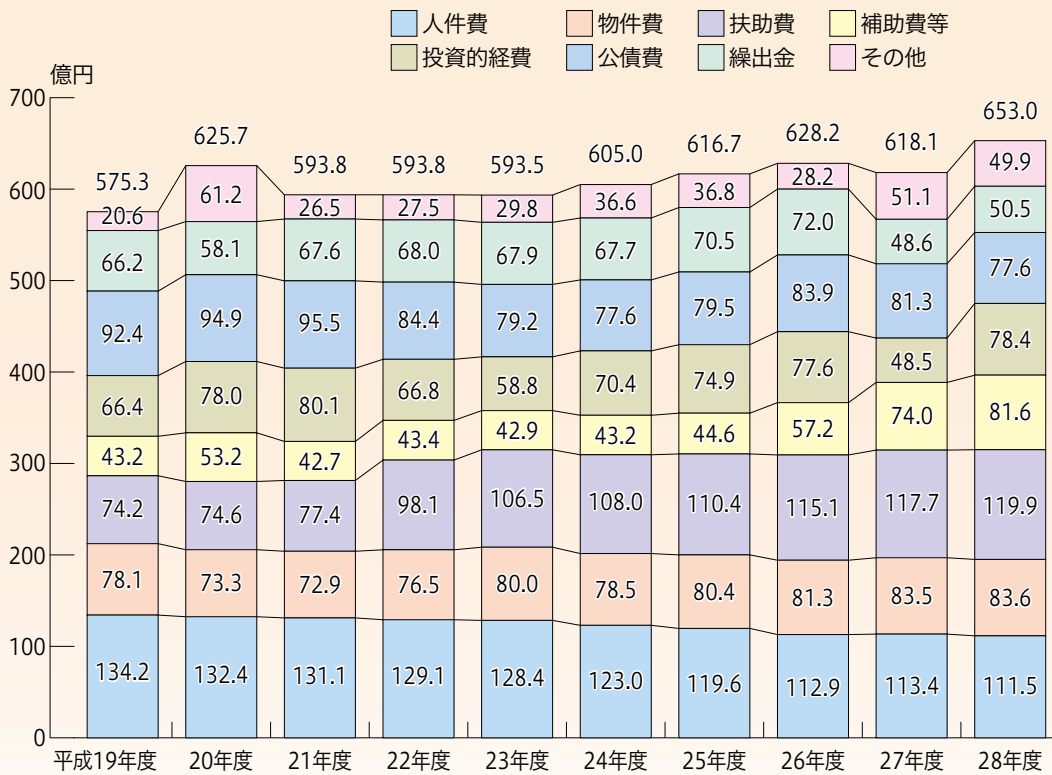
また、昨年7月、鶴岡工業高等専門学校が鶴岡市先端研究産業支援センター内に開設したK・A・R・C（高専応用科学研究センター）を全国の高専の研究開発拠点として整備する取り組みへ支援するほか、山形大学農学部を中心とする地域定住農業者育成のための共同事業体の設立と人材育成の総合的な支援活動を促進します。また、庄内農業高等学校と地域が連携した地域活性化の取り組みに対する支援を拡充するほか、新たに加茂水産高等学校との連携による水産加工品の開発などへ支援します。

農林水産業の成長産業化のため、鶴岡産米のブランド確立に向けたトップセールスやPR活動を進めるほか、つるおか農工商観連携総合推進協議会が行う新たな地域ビジネスの展開と、鶴岡ツーリズムの推進に向けた取り組みを支援します。

林業関係では、温海地域の中山間集落における農林産物栽培と林業とを組み合わせさせた経営モデルづくりを引き続き支援します。

企業や事業所の誘致に向け、本市への本社機能の移転や支店等の開設を促すため新たな助成を行うほか、地域の金融機関などと共同で、地域資源や技術等を活用して展開するビジネスプラ

一般会計歳出の構成別推移



- ・人件費…職員の給料、議員や委員の報酬など
- ・物件費…消耗品や備品の購入費用、光熱水費、施設の管理委託料など
- ・扶助費…生活保護費や保育園の委託料、乳児や重度身体障害者への医療給付費など福祉のためのお金
- ・補助費等…各種団体や病院・水道事業に対する負担金や補助金など
- ・投資的経費…道路、橋、学校など公共施設の建設経費
- ・公債費…借金の返済に充てるお金
- ・繰出金…介護保険などの給付費や下水道事業などに対して、一般会計から負担するお金

ンコンテストの実施を支援します。
シルクタウン・プロジェクトでは、本市の貴重な絹文化を継承する市民の取り組みと、鶴岡シルクのブランド形成に向けた生産者の取り組みを引き続き支援するほか、歴史遺産である史跡松ヶ岡開墾場を保存継承しつつ今後の活用を図るため、整備基本計画を策定するとともに、史跡内の建物と土地を買い取ります。

▼二 地域への新しいひとの流れをつくる

移住希望者の総合相談窓口として移住コーディネーターを継続して設置するとともに、鶴岡への移住を勧めるプロモーション映像を制作しインターネットで公開する等、効果的な情報発信に取り組みます。また、新たに移住希望者を対象とする「お試し住宅」を提供し、家賃の助成等を行うほか、移住者などの居住も含め、空き家の円滑な利活用を調整するコーディネーターの育成を支援します。

本市の多様な資源を基にした教育プログラムを開発し、首都圏などの親子を対象とする教育旅行（エデュケーション・トリップ）を実施します。大学などを卒業した若者の地元回帰を促進するため、県と協調し奨学金返還を支援するための基金を造成するほか、進学や就職で本市を離れる若者の地元回帰の意向把握や地元就職への働き掛け等を行います。

▼三 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

新たに母子保健コーディネーターを配置し相談支援体制を強化するほか、特定不妊治療費の初回助成額を増額します。第3子以降の保育料無料化については、第1子の年齢制限を小学6年生から年度当初18歳未満へ適用範囲を拡大します。子育て支援では、子ども家庭支援センターを拠点として、子育て中の先輩ママによるサポートの強化や、父親が育児参加する機会づくりに取り組みます。

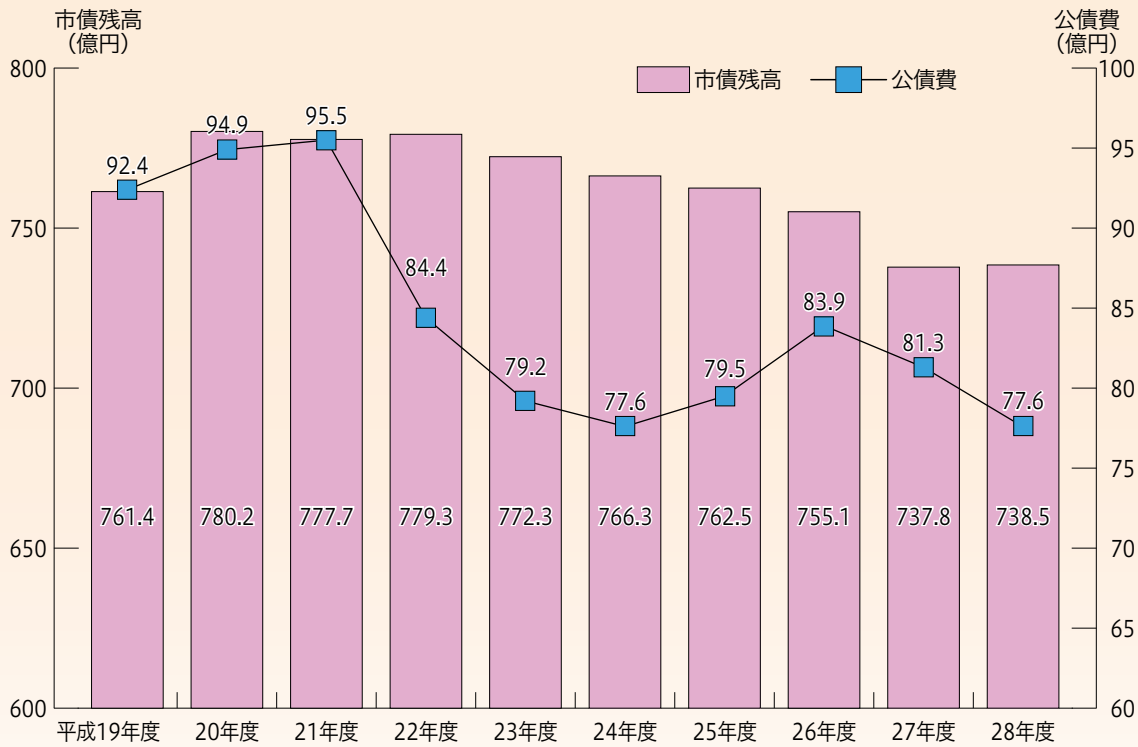
婚活支援では、つるおか婚シェルジュによる結婚を後押しする活動や、婚活イベントの開催を支援し、地域全体で出会いの場を創出する環境づくりを進めます。

▼四 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る

コンパクトシティの形成に向けたまちなか居住を推進するため、鶴岡銀座商店街周辺等を対象に住環境整備の事業主体や整備手法の具体化の検討を進めるほか、マリカ東館1階の活用に向けた民間主導の取り組みを促進します。あわせて、空き家などの遊休不動産を活用し価値を高めるリノベーション手法による事業を担う人材育成や事業創出に引き続き取り組みます。

集落生活圏の維持に向けた「小さな拠点」の形成では、大網地区をモデル

市債残高と公債費の推移



・市債残高…建設事業や財政対策などを行うために、金融機関などから借り入れたお金の残高
 ・公債費…借金の返済に充てるお金

地区として、日常生活圏単位で地域住民の暮らしを支える仕組みを構築するプランづくりや地域の拠点集落への移動等生活交通に関する実験などの取り組みへ支援します。加えて福栄地区への地域おこし協力隊の配置を継続し、任期が終了する大鳥地区の同協力隊の起業支援を行います。

住民自治組織ステップアップ事業補助金の対象を、地域ビジョン策定やコミュニティビジネスに関する事業に拡充するほか、コミュニティ支援員による活動を通じて広域コミュニティ組織の強化を図ります。

（二）鶴岡ルネサンス宣言（5つの文化都市宣言）関連事業

▼一 地域の可能性をのばす 創造文化都市宣言

総合戦略の事業である食文化、農工商連携、シルクタウン・プロジェクト等の取り組みに加え、食育・地産地消の推進に向け、食文化創造都市特別献立を学校給食で新たに提供するほか、第二次の食育・地産地消推進計画の策定に取り組みます。

中心市街地の活性化のため、商店街

等の連携によるイベント開催など鶴岡TMO事業を支援するほか、旧コミュニティプラザ「セントル」を活用したまちづくりの拠点整備に向けた運営計画づくりなどを進めるとともに、市街地の環境整備と景観形成に貢献する優

良建築物の整備に対し助成を行います。新文化会館の整備では着実に工事を進めるとともに、市民参加の機運醸成や記念事業の招致等、開館に向けた準備を進めます。

全国豊かな海づくり大会では、鼠ヶ関港で開催される海上歓迎・放流行事などに万全の準備で臨みます。

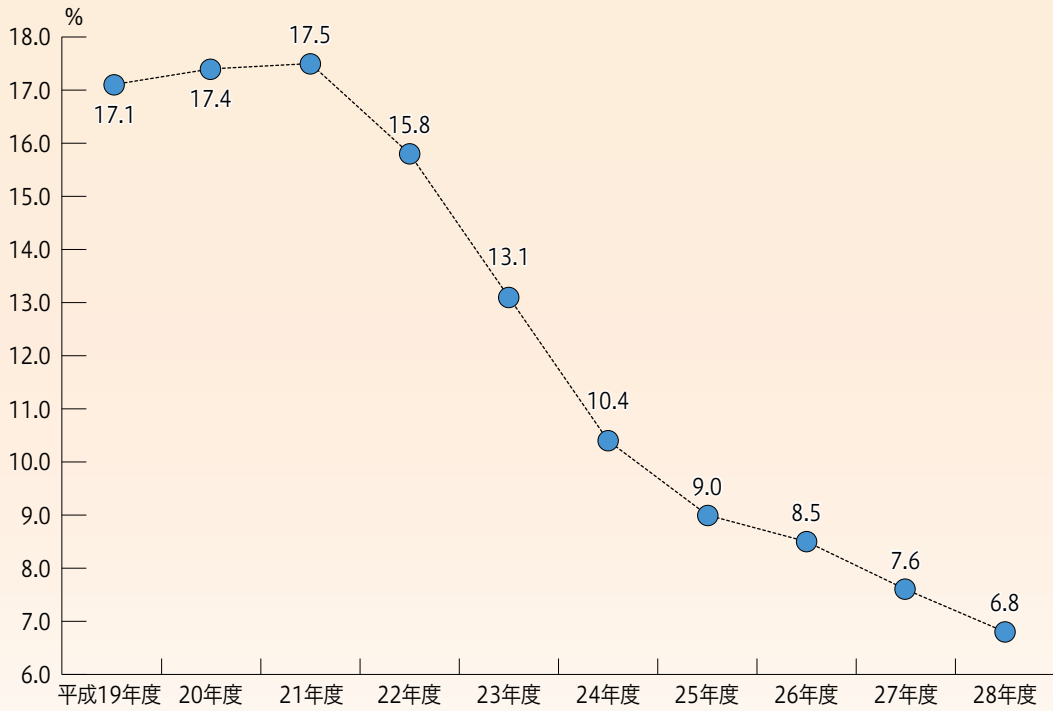
▼二 人と人の繋がりから交流人口を拡大する 観光文化都市宣言

総合戦略の事業である広域連携を通じた観光やテーマ・体験型観光の充実、効果的な観光情報の発信、外国人観光客の誘客促進に加え、観光資源の魅力向上の観点で、あつみ・湯野浜・湯田川温泉地域の活性化の取り組みを支援します。また、手向地区での住民主体の町並みを整備する取り組みに支援するほか、宿坊街の無電柱化の手法について検討します。

高速交通体系の整備促進では、引き続き日本海沿岸東北自動車道県境区間の整備に向けた要望活動に取り組むほか、鼠ヶ関地区のインターチェンジ周辺に休憩施設などを整備するための計画づくりを進めます。鉄道に関しては、新潟駅での新幹線乗換えの同一プラットフォームホーム化の早期実現、羽越本線の高速化や更なる安定輸送対策が図られるよう要望を行うほか、羽越新幹線の整備実現に向けた県の取り組みや隣県とも連携し、庄内地区期成同盟会としての活動を活性化します。庄内空港に関

実質公債費比率の状況

・実質公債費比率…公債費や公営企業への繰出金などを含めた実質的な公債費相当額が、標準財政規模に占める割合を、3か年平均で表した指標。この比率が18%以上になると市債の発行には県の許可が必要となり、25%以上になると、一定の市債の発行が制限される



平成27・28年度は推計値

しては、庄内空港利用振興協議会への支援を強化するとともに、10月に迎える空港開港25周年を記念してチャーター便などでの市民向けツアーを催行する予定です。

▼三、知を活かす” 学術文化都市宣言

先端バイオを核とした高度な産業集積の促進に加え、本市の4つの高等教育機関での研究や地域貢献活動を支援し、相互連携を一層図ります。

鶴岡漢方プロジェクトを支援するとともに、鶴岡みらい健康調査を通じて、慶大先端生命研の最先端技術を市民の健康づくりに役立てるほか、本市で開催される学術会議を支援し、国際的な存在感の発揮に努めます。

▼四、暮らし環境を整える” 安心文化都市宣言

がん検診の受診率の向上に向けて、日曜日がん検診や被扶養者の未受診者検診等の受診機会を拡充するほか、市民の自主的な健康づくりのため、健康つるおかマイレージ事業を実施します。

地域包括支援センターを拠点に、高齢者に対する相談サービスの向上と総合的な支援体制の構築に努めるとともに、在宅医療と介護の連携体制の整備、地域ケア会議の開催による課題の共有や効果的な対策の実施等を進めます。

地域コミュニティについては、鶴岡市地域コミュニティ推進計画に基づき、

広域コミュニティ組織における地域ビジョン策定に向けた取り組みを支援するほか、地区担当職員制度による住民と行政との連携を推進します。各地域で制度が異なる住民自治組織などの連合組織への補助金を統一するほか、公民館類似施設整備等補助金の制度も統一して鶴岡地域に拡充します。また、湯田川コミュニティセンターの多目的ホールを増築するとともに、旧湯田川小学校を解体して周辺と一体的な土地利用を図るほか、旧田川小学校の校舎を活用した田川コミュニティセンター整備のための設計を行います。

交通輸送対策では、路線バスや地域住民主体の生活交通確保への取り組みを支援します。また、朝日地域でのスクールバス等を活用した路線バスの実験運行や路線バス運行事業者の車両更新経費への助成などを新たに行います。

災害に強いまちづくりでは、新たな浸水区域の想定に基づく津波・洪水災害のハザードマップを作成するほか、自主防災組織等を対象とした図上訓練の実施、防災資機材整備、津波避難路整備などに引き続き取り組みます。また、庁舎間の情報通信手段を確保するため、本庁舎屋上に自家発電設備を設置するほか、本庁舎の耐震補強設計の委託料を27年度3月補正予算に計上しています。

学校関係では、鶴岡第三中学校の改築工事に着手するほか、地震での天井落下の危険性を除くため、5つの小・

平成28年度の主な取り組み



◁食文化創造都市推進事業

ユネスコ創造都市ネットワークに加盟した「世界の食文化創造都市」を国内外に強力にアピールし、食文化創造都市の高度ブランド化と観光・農林水産業などの成長産業化へ向けた戦略の構築に取り組みます。「鶴岡食文化の日」を制定し周知を図るほか、イタリア食科学大学の学生等による食文化研究プログラムを誘致し、食文化交流によるネットワーク構築を推進します。《写真…イタリア食科学大学学生の鶴岡食文化体験》

▷全国豊かな海づくり大会開催事業

本市で海上歓迎・放流行事が行われる「全国豊かな海づくり大会」の機運醸成や周知活動に取り組みます。《写真…第36回全国豊かな海づくり大会～やまがた～1年前イベント in 鼠ヶ関》



◁観光文化都市つるおかの推進

観光客の誘客促進や受け入れ態勢を充実するため、羽黒山五重塔等のライトアップや鶴岡観光ぐるっとバスの運行、首都圏や中京圏における観光キャンペーン事業の展開、食文化・城下町・出羽三山をはじめとする観光資源を活用した取り組みを支援します。(一部、平成27年度3月補正予算事業を28年度への繰越事業として実施)《写真…羽黒山五重塔ライトアップ》

中学校の屋内運動場の天井材撤去と照明のLED化を進める工事関係経費を27年度3月補正予算に計上しています。スポーツ環境の整備では、小真木原公園の野球場スコアボードの改修、南多目的広場の倉庫の改築、櫛引地域のグラウンド・ゴルフ場の日よけテントの新設等を行います。

▼五〇自然と共に生きる〇

森林文化都市宣言

森林文化都市構想を推進するため、つるおか森の時間や里山あるき等、自然と親しむ機会の創出やつるおか森の保育をはじめとする森林環境教育事業を展開するとともに、自然学習交流館を拠点とした自然学習や環境保全に関する市民の活動を助長します。

森林資源の保全・活用については、企業の森づくり推進事業などによって市民の森づくりへの参加を促進するほか、公共施設整備への地域産材の利用を進めるとともに、地域住宅リフォーム支援事業を増額して実施します。再生可能エネルギー導入については、家庭等での再生可能エネルギー設備や農業用水利施設を活用した小水力発電施設の整備などへ助成します。

(三) 地域の特性を生かした振興

合併新市づくりのソフト事業として重視してきた地域振興事業については、地域振興計画に基づき、地域特性を生

かした事業を力強く展開します。これまでと同様、地域間連携の視点での取り組みも含め、各地域庁舎が中心となって、関係者と連携して特色ある取り組みを進めます。

(四) 市民・地域・行政の協調・協力

鶴岡ルネサンス宣言の行動戦略の基礎となる、市民・地域・行政の協調・協力による地域の総合力の発揮については、車座ミーティングを開催するほか、鶴岡パートナーズ、いきいきまちづくり事業、鶴岡まちづくり塾、男女共同参画関連事業等、市民主体の様々なまちづくり活動を支援します。

さらに、首都圏在住の本市に縁のある方々との連携を強化するため市政報告会を新たに開催します。物産や観光の周知の一助として返礼品を贈呈するふるさと寄附金事業については、ふるさと納税サイトを活用するなど情報発信力の強化に努めます。

四 各種施策の概要

これまで紹介した事業以外の重要施策等について、鶴岡市総合計画の施策の大綱(6分野)に沿って紹介します。

(一) 市民生活分野

○消防救急体制の強化 羽黒庁舎との合築による消防羽黒分署の改築を進め



◁地域包括支援センターの体制強化

地域包括支援センターを拠点に、高齢者に関する相談をワンストップで受け付けます。また、地域ケア会議等を開催し、地域課題の集約化と分析を行い、高齢者の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防ケアマネジメント等を効果的・総合的に実施します。《写真…地域ケアネットワーク会議》

▷第3子以降の保育料無料化

満18歳未満（4月1日時点）の子が3人以上いる世帯で、第3子以降の保育所（公立、私立、届出保育施設等）・認定こども園・地域型保育施設・私立幼稚園の保育料を無料にします。《写真…三瀬保育園園庭で遊ぶ園児たち》



◁災害に強いまちづくり事業

地域の防災体制を強化するため、町内会単位での災害対応図上訓練に取り組み、具体的な避難行動プランを整備します。《写真…自主防災ワークショップにおける図上訓練》

○出産・子育て 早産予防と経済的負担軽減を目的に、妊婦の超音波検査への助成を新たに行います。「子ども・子育て支援新制度」や国の補正予算を活用し各種事業者への支援を充実するとともに、子供の成長のための各種事業を、家庭、事業者、地域と連携し実施するほか、老朽化が課題の公立保育園整備に向けた検討を進めます。

○健康づくり 総合保健福祉センターを拠点に、健康・医療・福祉の総合力が一層発揮されるよう、健康教育・相談事業などに取り組むほか、こころの健康づくりを進めるため、引き籠もりの若者に対する個別ケアを新たに実施

(二) 健康福祉分野

るほか、車両の整備や消防施設の新営改良を引き続き実施します。

○環境対策 ごみ焼却施設の改築や新たな最終処分場の整備に向けた準備を進めるとともに、現在の最終処分場の最後の土壌^{えん}整備を行います。また、カラス対策のための生息実態の把握などを新たに行います。

○総合相談窓口 消費生活のトラブルをはじめ、市民の悩みや不安に関する相談体制については、総合相談窓口を中心に他の専門相談窓口とも連携しながら、引き続き体制の充実に努めます。

○コンビニエンスストアでの各種証明書の交付 来年1月の運用開始を目指し準備を進めます。

○学校教育 小学生が鶴岡の良さに触れ地域を学ぶ機会として、『親子で学ぶ庄内論語』の活用や小学校スキー教室を実施し、地域への理解の促進と愛着を醸成します。

学習環境については、国指定の英語教育強化地域拠点としての取り組みなどを通じて、小学生からの英語教育を充実するほか、障害の有無に関わらず、

(三) 教育文化分野

定します。また、歯科^{くわ}口腔保健計画を策定します。

○地域福祉 福祉アドバイザーの設置や地域福祉リーダーの育成を通して、住民協働による地域コミュニティの構築に取り組みます。

○低所得者福祉 生活困窮者自立支援法に基づき、相談支援体制を強化し、生活保護に至る前段階での自立支援に取り組みます。

○障害者福祉 障害者差別解消法に基づき、市における障害者への合理的配慮に万全を期すとともに、障害者優先調達に関する周知を強化します。

○地域医療 庄内病院では、引き続き基幹病院としての高度・良質な医療の提供に努めるほか、修学資金制度などで医師確保を図るとともに、高度医療機器などの整備を計画的に進めます。また、南庄内緩和ケア推進協議会を通じて、がん患者やその家族のサポート体制の充実を図ります。

子供たちがともに学ぶ環境を整えるインクルーシブ教育システムの構築に向けたモデル事業の継続などを通じて、多様な課題を抱える児童や生徒にきめ細かく対応します。学校の適正配置では、広瀬小学校とあつみ小学校の開校式典及び大網小学校のあさひ小学校への統合、大山小学校と加茂小学校の統合に伴い必要な準備を進めます。

○生涯学習 中央公民館を拠点として、プラネタリウムの番組充実など各種学習事業に取り組みほか、多様な学びの機会として、鶴岡致道大学や慶應丸の内シテイキャンパスの夕学五十講を活用した市民講座等を実施します。

○文化 藤沢周平記念館では、来年1月に藤沢周平氏没後20年を迎えることから、特別企画展の開催と記念誌作成に取り組みます。図書館では、特別な支援を要する子供たちのための図書等を購入して学校に貸し出すなど、鶴岡市子ども読書活動推進計画に基づく新たな取り組みを進めるほか、著名な作家を招き小説を学ぶ新たな講座を開設します。市民の芸術活動の環境づくりでは、アートフォーラムを拠点として市民の創作活動の活発化などに努めるほか、鶴岡市芸術文化協会の体制強化を支援します。歴史的文化資源の保存継承では、国指定名勝金峯山の保存活用計画を策定するために必要な測量などを実施するほか、丸岡城跡史跡公園ガイダンス施設を開設し、歴史的な価値の周知等を図ります。

○スポーツ 鶴岡市スポーツ推進計画に基づき、総合型地域スポーツクラブの育成やウォーキング事業を通じた生涯スポーツの普及を図るほか、外部指導者によるジュニアの競技力の向上、スポーツ合宿の誘致等の環境整備を進めます。

(四) 農林水産分野

○担い手育成 Uターン者を含めた新規就農者への支援の充実に取り組みます。また、T P P（環太平洋パートナーシップ協定）関連の国の補正予算も含め、経営体育成支援事業を通じ、人・農地プランに位置付けられた中心的経営体の機械施設などの整備補助を行うとともに、農地集積が円滑に進むよう支援します。

○地域特性を生かした農業振興 水田を有効利用した畑作物の生産振興や園芸特産物の産地形成を図るための支援のほか、本市の貴重な資源である在来作物の生産と販路拡大のための支援を継続します。

○環境保全型農業 鶴岡市環境保全型農業推進計画に基づき、全市的な取り組みを促進し、農産物認定認証事業を引き続き推進します。

○中山間地農業 直接支払交付金事業を推進するほか、鳥獣被害防止のため、捕獲業務等の対策実施隊の運営に加え、対策協議会への支援などを行います。

○畜産関係 優良牛などの導入確保を

推進するほか、畜産農家の経営安定に向けた支援を行い、耕畜連携を推進します。

○農業基盤整備 多面的機能支払活動支援事業を通じて地域での維持管理活動を支援するほか、国営赤川2期地区かんがい排水事業、水田畑地化基盤強化対策事業、県営基幹水利ストックマネジメント事業、県営経営体育成基盤整備事業、農村地域防災減災事業等を進めます。

○林業 念珠関線、大坂山天狗森線をはじめとする林道や作業道の路網整備のほか、森林組合などによる間伐や森林整備の活動支援、急速に被害が拡大している松くい虫対策等を実施します。

○水産業 新たに独立経営を行う漁業者に対する漁船取得費用の助成を継続するほか、山形県漁協が新たに行う村山地方等の内陸部での販路拡大の取り組みを支援するなど、地元海産物の消費拡大に向けた事業を進めます。また、大岩川漁港の防波堤整備や、県への事業費負担による由良漁港整備等を行います。

○しな織 関川しな織センターの建物を解体し、関川しな織協同組合がぬくもり館と併設する形で新たに整備する費用を助成します。

(五) 商工観光分野

○企業立地 用地取得助成金や事業場設置助成金等を通じて、企業の立地や

設備投資を促進するほか、鶴岡中央工業団地水道の供給力を高めるため、井戸の増強を行います。

○地元企業の活性化 新製品開発、販路拡大、技術力向上等を行う企業に対する支援とともに、庄内地域産業振興センターを中核として、金融機関など他団体との連携強化、セミナーや相談等による起業家育成、職業能力開発等の産業人材育成の取り組みを促進します。

○観光 まつり振興事業による夏の祭りウィークなど各地で開催される祭りへの支援や、精進料理を通じた宿坊街への誘客支援を実施します。また、本市の中核的観光施設となっている加茂水族館の運営や来訪者の目線に立つた観光パンフレットの再編集等に取り組みます。

(六) 社会基盤分野

○都市計画 歴史的風致維持向上のため、新たに歴史的風致形成建造物を指定し改修等へ支援するほか、茅原北土地区画整理事業を支援します。公園及び緑地整備では、本町二丁目の街区公園などの整備や公園施設の長寿命化計画に基づく施設の改修等を行うほか、平成27年度で計画期間が終了した緑の基本計画を更新します。

○道路 優先度や緊急度を考慮しながら、整備や長寿命化対応を進めるとともに、中心市街地区の一方通行解除

各地域の取り組み



△人と環境にやさしい農業推進事業

都市消費者との交流を通じて、人と環境にやさしい農業や農産物のPRに取り組みます。《写真…東京都練馬区光が丘の小学校で開催した安全・安心な農産物の出前授業》



△鶴岡市羽黒庁舎改築事業

地域産木材の利用や木質パレットによる冷暖房を導入するなど森林資源を活用しながら、にぎわい創出や観光振興、防災の拠点となる庁舎を目指し整備します。《羽黒庁舎外観イメージ図》



△都市農村交流促進事業

出前授業や農業体験の受入れなどの都市農村交流活動を支援し、鶴岡ファンの拡大を目指します。《写真…横浜市青木小修学旅行農業体験》



△温泉街賑わいづくり促進事業

あつみ温泉の町並みを活用したオープンカフェやクラフト展、フリーマーケットの開催などによる温泉街のにぎわいづくりを支援します。《写真…足湯「あんべ湯」付近で行われるオープンカフェ》



△大鳥池淡水魚放流事業

大鳥池や赤川の淡水生態系の保全を推進し、朝日連峰をはじめとする山村地域への釣り人や登山客等の誘客増加と地域内外の交流拡大につなげます。《写真…大鳥池でのヒメマスの稚魚の放流》

以上、平成28年度の予算と主要事業の概要を紹介しました。限られた予算と人員の中で最大の成果を上げるため、鶴岡市人材育成基本方針に基づき、職員の資質向上にも一層努めます。また、国や県をはじめとする市政推進に係る動向と、地域の実態把握に努め、本市にとって望ましい政策・制度等の調査研究を行い、地域の振興発展、市民サービスの向上が図られるよう努めていきます。

むすびに

に向けて、都市計画道路山王町本町線の整備を進めます。

- 除雪 除雪機械の計画的な整備を進め、道路などの除雪作業を適切に行います。
- 住宅 市営住宅の適切な維持管理に努めます。
- 水道事業 効率的な事業運営に努めるとともに、老朽化した水道管の耐震管への更新を計画的に推進します。
- 公共下水道・集落排水事業等 公共下水道事業では、茅原北土地区画整理事業をはじめとする汚水や雨水の管渠整備のほか、長寿命化計画に基づく各浄化センターの整備を進めます。農業集落排水事業では、羽黒地域と櫛引地域の処理施設の統合事業などに引き続き取り組めます。また、上下水道事業の料金収納等の包括的業務委託に向けた準備を進めます。

平成28年度の主な事業

◆鶴岡ルネサンス宣言関連事業

◎創造文化都市宣言事業

食文化創造都市推進事業	4,387万6千円
*ユネスコ食文化創造都市インバウンドプロモーション事業	1,050万6千円
*鶴岡産特産物輸出拡大事業	390万円
*農商工親連携推進事業	601万円
農業6次産業化推進事業	3,092万6千円
松ヶ岡地域振興事業	1億7,713万5千円
鶴岡シルクタウン・プロジェクト推進事業	540万7千円
全国豊かな海づくり大会開催事業	3,328万6千円
中心市街地活性化推進事業	4,641万8千円
文化会館整備事業	16億3,323万円

◎観光文化都市宣言事業

観光一般事業	7,091万円
*観光文化都市つるおか交流推進事業	2,891万4千円
*国際観光推進事業	1,333万8千円
加茂水族館管理運営事業	3,917万1千円
高速交通・鉄道在来線振興事業	1,873万3千円

◎学術文化都市宣言事業

先端生命科学研究所支援事業	3億5,089万5千円
新産業創出地域基盤事業	1,200万円
高等教育機関連携促進事業	439万1千円
先端研究産業支援センター管理運営事業	1億5,739万7千円

◎安心文化都市宣言事業

各種健康診査事業	3億2,192万7千円
地域包括支援センターの体制強化	1億4,750万7千円
広域コミュニティ推進事業	3億7,498万9千円
コミュニティセンター整備事業	2億2,700万円
空き家有効活用支援事業	1,415万7千円
災害に強いまちづくり事業	5,063万3千円
鶴岡第三中学校改築事業	7億6,322万3千円
*小・中学校耐震補強事業	1億7,161万円

◎森林文化都市宣言事業

庄内自然博物館構想推進事業	1,895万6千円
森林文化都市構想推進事業	97万6千円
森林環境教育推進事業	340万7千円
地域住宅活性化事業	1億1,034万5千円
地域エネルギービジョン推進事業	694万3千円

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

移住・定住促進事業	798万9千円
地域内企業の高度化・企業活性化支援事業	3,864万8千円
「ふるさと鶴岡を愛する子ども」育成推進事業	475万7千円
遊休不動産利活用推進事業	830万円
妊婦健康診査・家庭子育て機能育成事業	9,387万1千円
特定不妊治療費助成事業	1,545万2千円
第3子以降の保育料無料化	1億6,000万円
子育て支援医療給付支援事業	4億5,407万2千円
子ども家庭支援関連事業	8,070万7千円
婚活支援事業	482万6千円
放課後子ども教室推進事業	1,378万5千円
「小さな拠点」づくり推進事業	355万7千円

◆各地域の特性を生かした振興

地域活性化事業	1,828万円
地域間連携事業	200万円
過疎対策推進事業	1,845万6千円

◆市民・地域・行政の協調、協力

鶴岡パートナーズ推進事業	300万円
ふるさと寄附金事業	2億3,613万6千円
いきいきまちづくり事業	586万5千円
男女共同参画推進事業	73万5千円

◆地方分権改革への対応

鶴岡市総合計画進行管理事業	437万8千円
特定政策課題調査研究事業	1,058万3千円
公共施設等総合管理計画策定事業	1,174万円
羽黒庁舎改築事業	6億4,551万4千円
住民票等各種証明書コンビニ交付事業	5,366万8千円
徴収管理業務・収納管理事務(コンビニ収納対応)	337万1千円

◆分野別の事業

◎市民生活分野

地域コミュニティ再生事業	1,106万7千円
生涯学習振興事業	1億4,699万5千円
避難所強化対策事業	2,575万円
消防施設新営改良事業	6,220万9千円
ごみ焼却施設整備事業	2,900万5千円
一般産業廃棄物最終処分場整備事業	1,222万2千円

◎健康福祉分野

保育サービス関連事業	42億5,011万9千円
放課後児童対策事業	2億4,290万6千円
健康教育・相談事業	220万9千円
福祉のまちづくり総合推進事業	193万9千円
生活困窮者自立支援事業	1,505万8千円
介護保険料軽減強化事業	2,211万2千円
認知症対策関連事業	771万3千円

◎教育文化分野

小・中学校教育機器(パソコン)整備事業	6,861万1千円
教育相談・適応指導事業	2,832万4千円
特別支援教育充実事業	6,705万円
統合学校・地域支援事業	1,029万7千円
スポーツ施設改修事業	1億500万円

◎農林水産分野

*経営体育成支援事業	3億7,590万3千円
地域定住農業者育成プロジェクト事業	200万円
特産物生産推進支援事業	1億5,806万8千円
中山間地域等直接支払交付金事業	2億5,611万7千円
鳥獣被害対策事業	1,278万6千円
県営経営体育成基盤整備事業	2,498万2千円
多面的機能支払活動支援事業	9億6,753万5千円
*森林病虫害等防除事業	3,744万9千円
林業基盤整備事業	7,540万円
漁港修築事業負担金	1,092万円
漁港施設整備改良事業	7,014万円

◎商工観光分野

地元出身学生等回帰促進事業	280万7千円
企業立地促進事業	4億1,618万6千円
金融対策事業	15億450万3千円
産業人材育成支援事業	1,097万5千円
ビジネスプランコンテスト全国公募事業	200万円
まつり振興事業	3,499万7千円

◎社会基盤分野

市街地再開発事業	2億2,581万9千円
鶴岡市歴史的風致維持向上計画事業	6,067万7千円
鶴岡市茅原北土地区画整理事業	1億1,784万3千円
道路公共事業・道路新設改良事業	8億3,093万2千円
都市計画道路山王町本町線整備事業	2億3,178万1千円
除雪対策事業・除雪機械整備事業	6億9,867万3千円
交通輸送対策事業	1億7,640万1千円
市営住宅新営改良事業	7,200万円

※印は、平成27年度3月補正予算事業を28年度への繰越事業として合わせて実施するものです。

鶴岡市の財政・予算及びこの特集について、詳しくは本所財政課へ
☎25 - 2111内線332 ✉zaisei@city.tsuruoka.lg.jp